

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	悪性リンパ腫	(R-)Irinotecan+Adriamycin (THP)
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日	3 クール施行

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day -)				
							0	1	2	3	
1	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓				
2	(リツキシマブ施行時) 生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg	/		静注	/	↓				
3	<input type="checkbox"/> 施行有 生食★ <input type="checkbox"/> 施行無 リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	医師の指示通り	↓				
★2回目以降90分で投与する場合は生食 250ml規格で →				ml							
4	グラニセトロンバッグ	3mg/100ml	/		点滴静注	30分		↓	↓	↓	
5	生食 イリノテカン	250ml 25 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	60分		↓	↓		
6	生食 ピラルビシン	100ml 40 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	30分				↓	
7	生食	50ml	/		点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓	

Rp	薬品名	薬価最小组み合わせ	備考
3	リツキシマブ	内訳 100mg: 0mg 500mg: 0mg	1~4mg/mlに希釈調製し使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴
5	イリノテカン	内訳 40mg: 0mg 100mg: 0mg	
6	ピラルビシン		[総投与量]950mg/m ² を超えないこと

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
(リツキシマブ施行時) イブプロフェン	100mg	リツキシマブ30分前	day0
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ30分前	day0

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。
別途ステロイドを使用している場合は、リツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。

備考	
----	--